

RIKKYO

NIIZA

2024



立教新座中学校・高等学校

RIKKYO

NI

202

YO

SCHOOL GUIDE 2024

IIZA

24



SPIRIT OF RIKKYO NIIZA

明確な答えや解決策を見出しづらい社会問題が数多く発生する現代に必要なのは、多様な価値観や背景を持つ人々と協働し課題解決に取り組む力。立教新座中学校・高等学校は、建学の精神である「キリスト教に基づく人間教育」のもと、限りなく自由な環境の中で、自ら問い、考えながら世界の人々と「共に生きる力」を備えたグローバルリーダーを育成します。

ここは、
自由の学び舎

CONTENTS

- 1 特集 SPIRIT OF RIKKYO NIIZA
- 3 SPIRIT 1
MAKE YOUR WORLD LARGER.
自分と向き合い、問いながら、世界を広げる自由な学び
 - 4 中学 英語2
 - 5 高校 自由選択科目
 - 6 高校 卒業研究論文
- 7 SPIRIT 2
BE A GLOBAL LEADER.
グローバル社会を共に生きるための新たな時代を担うリーダーシップ
 - 8 LEADERSHIP 「共に生きる力」を育てる
 - 9 GLOBAL 海外体験・多文化理解
- 11 卒業生が語る立教新座で培った MY SPIRIT
- 13 中学の学び
- 15 高校の学び
- 19 ICT教育/Q&A
- 21 躍動する立教新座生
- 23 体験学習
- 25 施設紹介
- 27 年間行事
- 29 クラブ活動
- 31 進路
 - 33 立教大学への推薦進学
 - 34 受験による他大学進学
- 35 中学校 入試情報
- 36 高等学校 入試情報
- 37 校長メッセージ
立教学院について
沿革
- 38 学校概要

SPIRIT 1

MAKE YOUR WORLD LARGER.

自分と向き合い、問いながら、
世界を広げる自由な学び

何に興味があり、何を学びたいのか。
考え、判断し、選択する

多種多様な選択科目の中から受講科目を選んだり、
校外研修の行先を選んだり、自ら考え、判断する教育
プログラムを展開しています。学校生活において、
幅広い選択肢から判断し、選ぶことのできる「自由さ」
の中で独自の学びや研究テーマを見つけるだけで
なく、自らの選択や行動に責任を持つ「自律」の姿勢も
同時に養います。こうした選択の機会を何度も経験
し、自分の行動に対する振り返りを積み重ねることで、
自分にとってふさわしい道を見つけていきます。

自由

興味・関心を追求し、
自ら選び、自ら学ぶ

+

自律

自分の選択や行動に
責任を持つ

SPIRIT
1

MAKE YOUR
WORLD
LARGER.



伸ばしたいスキルに合わせて、自ら授業を選択

英語 2

中学

中学3年の「英語2」では「聞く・話す、読む、書く」のうち特に伸ばしたい分野を選択し、ネイティブ教員による授業で英語力を高めていきます。

ニュース記事や動画を用いてディベートを行う「SS」、会話や物語を聞き、話し合う「Speaking & Listening」、自分自身の考えを英語で表現するスキルを学ぶ「Writing」、英文を正しく読解する能力を鍛える「Reading」、基礎力を養い実践に生かす方法を学ぶ「Basic」。5つの選択科目の中から自分で受講科目を選択します。

※「Basic」のみ日本人教員による授業

科目一覧

SS
Speaking & Listening
Writing
Reading
Basic (基礎力を養う)



高校1年
萩原 聡太

「英語の楽しさ」を感じさせてくれた授業。
この経験を長期留学に生かしたい

オールイングリッシュで行われるSSクラスでは、海外のニュース映像を見て、聞き取った内容を英文で書いたり、英語で議論したりします。レベルが高く、授業中はずっと英語なので最初は怖気づきましたが、回を重ねるごとに成長を実感。「英語を話すことが楽しい」と感じられるようになりました。高校では長期の留学に挑戦し、将来は英語を使う仕事がしたいと思っています。

90講座から“自分の学び”を発見する

高校3年からは、必修の選択科目のほかに「自由選択科目」の履修が始まります。文学作品や歴史を深く研究する講座、学力補強を目的にした講座、複数教科を横断的に学ぶ講座、立教大学の教員による講座など、特徴ある約90種類の講座の中から、自分の興味や将来の目標に応じて講座を選択。学問や研究に対する意欲を高め、卒業後につながる「自分だけの学び」を深めていきます。

▶ 詳細はP.17

科目例

京都論	国際関係の研究	生命倫理と人権
数学Ⅲ	ラテン語	「伊勢物語」を読む
化学特講	情報音楽入門	メディアとジャーナリズム
映画の英語	リーダーシップ入門 自己&他者理解	対話を通じた リーダーシップの実践

Student Voice



立教大学
経営学部
河野 太心 (2022年度卒業)

興味に応じた自由な学びが 新たな世界の扉を開く

自由選択科目ではプログラミング、朝鮮語、英語で学ぶヨーロッパ史など、興味の赴くままに幅広い分野を学習。特に印象に残っているのは「プログラミング入門」です。基礎から学び、今では簡単なゲーム制作も可能に。市販のゲームがどんなアルゴリズムで動いているのか想像できるようになりました。視野が広がり、学ぶ楽しさも実感できました。

READ MORE



卒論を執筆し、“興味”を“研究”に変える

卒業研究論文

—
高校

総合的な学習の一環として卒業研究論文を執筆します。高校2年の3学期からテーマ設定や資料収集に取り組み、指導教員のもとで推敲を重ね、1年間をかけて論文を完成させます。自らの興味を深く掘り下げ、研究として成立させることで、研究能力と自己表現能力の向上を促すだけでなく、問題意識を持って生活すること、物事に対する批判的な視点を身に付けることにもつながります。

▶ 詳細はP.17

2022年度テーマ例

海外渡航を経験する子供達のアイデンティティ

モンゴルサッカーが発展するための方策に関する一考察

なぜ高速道路のサグ部及び上り坂では渋滞が発生するのか
錯視を利用したサグ部での渋滞緩和策の検討

Student Voice



立教大学
文学部
澤田 悠斗 (2022年度卒業)

卒業研究論文執筆を通して 将来の夢が、より明確な目標に

中学の時、工夫を凝らした授業を受けて苦手を克服できた経験があり、論文では効果的な英語の教授法について研究。中学の恩師を取材し、授業の意図や狙いがよく理解できました。立教新座の主査の先生からも熱心に指導いただき、論理的に考える力が鍛えられたと感じます。そして、元々抱いていた英語教員という夢が、より明確な目標になりました。

READ MORE



SPIRIT 2

BE A GLOBAL LEADER.

グローバル社会を共に生きるための
新たな時代を担うリーダーシップ

世界中どこでも、誰とでも
発揮できる力を身に付ける

グローバルリーダーとは、高い語学力がある人や、集団を率いる力のある人ではありません。多様な価値観や背景を持つ人々が集まる場において、一人ひとりの良さを見つけ、チームの行動に発展させていく力。こうした力こそが、新しい時代を他者と生きるグローバルリーダーには求められます。立教新座では、国際交流プログラムとリーダーシップ教育を通じて、深い教養とコミュニケーション能力、問題解決力などを身に付け主体的に行動できる人間の育成を目指しています。

グローバル体験

海外体験

異文化交流



一人のカリスマが
チームを引っ張る



一人ひとりが主体的に
問題解決に取り組む

立教新座で学ぶリーダーシップ

国籍や文化が異なる人々との
垣根を越えるグローバルリーダーへ

SPIRIT
2
BE A
GLOBAL
LEADER.



「共に生きる力」を育てる LEADERSHIP

自分の強みを発揮し、 仲間と共にゴールを目指す

自分の能力を生かして、周りに働きかけながら人と人をつなぐ「これからの」リーダーシップを身に付け、発揮するため、授業や部活動を通したさまざまなプログラムを実施しています。

自由選択科目



大学教員が担当する「リーダーシップ入門 自己&他者理解」と「対話を通じたリーダーシップの実践」の2講座を開講。コミュニケーション能力やコーチングなど、誰もが持つべきリーダーシップを磨きます。

リーダーシップ研修



リーダーシップ教育の支援を行う企業や、立教大学経営学部と連携し、部活動において必要とされるリーダー像や、目標の設定と相互フィードバックについて学びます。

その他プログラム

- 校外研修旅行
- 卒業生による講話会
- リーダーズミーティング
- フォローアップ研修
- 立教大学「立教GLP特別聴講生制度」

Student Voice



高校3年
鈴木 幹哉

自分では認識していなかった リーダーシップに気付けた

リーダーシップ研修とフォローアップ研修に参加。自分にはリーダーの適正がないと思っていたのですが、自分で認識していなかったリーダー性に気付けたのは大きな収穫でした。また、部活で取り組むべきことが明確になり、モチベーションもアップ。ここでの学びを今後は文化祭などの学校行事でも生かしていきたいです。

READ MORE



校内で、海外で、 グローバルな視野を育む

授業で英語力・英会話能力を身に付けるだけでなく、養った語学力を試し、海外の文化や価値観の違いを体感するために、海外研修や留学制度、留学生と交流する機会を豊富に用意。生徒の多様なニーズに応えています。海外の人々との交流を通じて、自分自身を知り、グローバルに物事を考えられる広い視野を身に付けるほか、他者を知り、世界中のどんな人とも共に生きる力を育てます。



高校3年
市宮 晃太郎(セント・ポールズ・スクールに1年間派遣留学)

勉強の傍ら、部活動にも熱中。
海外生活を心ゆくまで満喫

留学先の授業は、基本的に自分の興味に合わせて選択します。必修科目もありますが、その中でクラスを選ぶことが可能です。部活動にも精力的に取り組み、特にレスリングに熱中。州の私立高校のレスリング大会では3位という結果で大きな達成感を覚えました。週末は、宿題を済ませた後、主に数学を楽しんでいます。ホストファミリーに連れられ、アメリカの文化であるホームパーティも体験しました。



READ MORE



(海外体験・多文化理解)

1年間の長期留学や2週間から1カ月の短期語学研修、4カ月のワンタム留学など、さまざまな海外研修や留学プログラムを実施。国際的な視野を養うための機会を幅広く提供しています。また、留学生の受け入れなど、校内でも国際交流できる機会を多く設けています。

語学研修



アメリカ・サマーキャンプ
(中学3年対象/約2週間/夏休み)

アメリカ・カリフォルニア州のキャンプ場でアウトドア活動をして過ごします。

参加者数:約20名



オーストラリア短期留学
(高校1~3年対象/約3週間/夏休み)

現地校に通い、現地の生徒と同じ授業を受けながら実践的な英語力を養います。

参加者数:約25名



英国サマースクール
(高校1~3年対象/2~3週間/夏休み)

イギリスの語学学校で、授業やアクティビティを通して語学や文化を学びます。

参加者数:約20名



ギャップイヤー留学
(高校3年対象/約1カ月/進路決定後2~3月)

高校3年の進路決定後、留学ビザを取得してアメリカの語学学校に留学します。

参加者数:約20名

ワンタム留学制度



(高校2年対象/約4カ月/9~12月)

イギリスの公立高校「コリアーズ・カレッジ」で現地生徒と共に授業を受けるプログラムです。留学期間は休学扱いとなり、留学後は同年の3学期から復学できます。

参加者数:上限2名

教科が実施する海外研修

理科海外研修



～マレーシア 資源の旅～
(高校生対象/2019年度実施)
熱帯雨林の観察やマレー鉄道の乗車体験、地元企業の視察を通して、グローバルな視野を広げます。

参加者数:約10名

～オーロラ観測～
(高校生対象/2023年12月実施予定)
フィンランド・ロバニエミでのオーロラ観測を予定。現地科学センターの見学等を通して、科学とテクノロジーを体験します。

宗教科海外研修

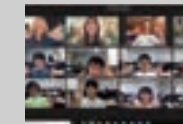
～ポーランドの過去・現在・未来を巡る旅～ (高校1・2年対象/2024年3月実施予定)

ワルシャワ、クラクフ、アウシュヴィッツの世界遺産を訪れるほか、現地学生とのワークショップやフィールドワークを通して交流を深めます。

国内での国際交流

English Challenge Program

(中学3年、高校生対象/4日間/夏休み)

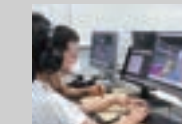


「英国サマースクール」の代替として、英語での講義、Zoomを通じた交流、英語プレゼンテーションなどを行いました。

参加者数:約10名

Aquinas Collegeの中高校生との交流

(高校生対象)



「オーストラリア短期留学」の代替として、チャットやメタバース空間での生徒同士の交流の機会を設けました。

参加者数:約20名

日常の国際交流

(全学年対象/年間を通して実施)



提携校から留学生を受け入れ、授業や課外活動を通じて交流しています。留学生の生活をホストファミリーやバディとして支援する取り組みも行っています。

留学生数:約20名

長期留学制度

留学先で取得した単位を振り替え、復学後に上の学年に編入する「進級復学」が可能です。留学先や留学方法を定める準備段階から、留学担当教員がサポート。留学中に生じた履修や海外生活の不安、帰国後の復学や成績に關してなど、あらゆる相談に対応しています。時期や留学先を目的に応じて自分で決められる「私費留学」を含め、高校では例年約15名が長期留学を経験しています。



派遣留学制度 提携校で1年間、派遣留学生として学ぶプログラムです。

**立教英国学院
中学部**
(中学2年4月～)

立教大学の系属校である立教英国学院に1年間留学。留学後は3年生に復学することを原則としています。

**ブライトン・グラマー
スクール**
(高校1年1月～)

オーストラリア・メルボルン近郊の現地提携校で学ぶプログラム。ホームステイをしながら学校に通い、現地の生徒と学びます。

**セント・ポールズ・
スクール**
(高校2年9月～)

アメリカ・メリーランド州の提携校で現地生徒と共に学びます。国際バカロレアが提供するプログラムも履修可能です。

私費留学

自分で留学先の国や学校、プログラムを選択。興味や将来の目標に沿って留学のプランを自由に決められるため、英語圏だけでなくヨーロッパへ留学をする生徒もいます。

卒業生が語る
立教新座で培った

MY SPIRIT



KOTARO MORI

立教大学進学

吹奏楽に没頭した高校時代。大学でも学内外の吹奏楽団で音楽に向き合う日々

森 厚太郎 / 立教大学 法学部 2年

高校では吹奏楽部の活動に没頭。生徒主体で試行錯誤しながら練習に励み、創部以降初の全国大会出場と金賞受賞を果たしました。大会に向けて練習をしていく中で、一人で抱え込むのではなく、仲間を信頼し「頼ること」の大切さに気がきました。大学では「庶民吹奏楽団」という公認サークルと学外の吹奏楽団に所属し、引き続き音楽活動に力を注いでいます。他にもスキューバダイビングのサークルに入会するなど、新たな活動にも挑戦。法学部の学びでは、特に労働法に高い関心を持って勉強に励んでいます。将来は公務員を目指すとともに、何らかの形で音楽に関わり続けたいと思っています。

2022年3月 卒業
リーダーシップや法律に興味を持ち、立教大学へ

2022年4月
立教大学法学部法学科に入学

READ MORE



他大学進学

勉強だけではない幅広い経験を通して人間的に成長できた

大澤 蒼樹 / 横浜市立大学 医学部 4年

本格的に医学部進学を決意したのは中学3年の時。高校2年から在籍した他大学進学クラスでは他にも医学部志望者がいて、同じ志を持つ仲間と高い意欲を持って勉強に取り組むことができました。立教新座の先生は、知的好奇心をかき立てる授業をしてくださる方が多く、勉強自体を楽しむ姿勢も身に付きました。高校の部活動では「オルガニストギルド」に所属し、チャペルのパイプオルガンを演奏。また、国際的な課題解決に向けた発表を行う学外のイベントに、有志で参加したことも印象に残っています。こうした幅広く貴重な経験が、偏差値では測れない人間的な成長につながったと感じています。

2020年3月 卒業
医師を目指し他大学進学の道へ

2020年4月
横浜市立大学医学部医学科に入学

READ MORE



SOUKI OSAWA



MAX CHIMOTO MILLER

身をもって学んだ新しいリーダーシップがさらなる舞台で生きた

ミラー千本真章 / サッポロビール株式会社

立教大学では陸上競技部駅伝チームに所属、主将を務めた4年次に55年ぶりの箱根駅伝出場を果たしました。出場が決まった時、立教新座出身の多くの同級生から声をかけてもらったのは嬉しかったですね。個性の強い部員が集まる駅伝チームで主将を務められたのは、立教新座での経験が大きかったと思います。高校でも長距離部門のキャプテンを務めたのですが、苦労や失敗もたくさんありました。そうした中でも仲間と対話を重ね集大成となる大会で悔いのない結果を残すことができました。皆の思いに耳を傾け、それぞれの長所を生かす。そんなリーダーシップを身に付けられたことは立教新座で得た一番の財産です。

*第99回東京箱根間往復大学駅伝競走(2023年1月2日・3日)

2019年3月 卒業
立教大学コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科へ

2023年4月
箱根駅伝に関わりたいとサッポロビール株式会社に入社

READ MORE



何事にも全力で挑戦できた立教新座での経験が夢の実現につながった

宮澤 奎太 / 株式会社熊本県民テレビ 報道制作局 アナウンス部

アナウンサーになりたいと小学生の頃から思っていました。目指す過程で心が折れそうになることもありましたが、夢に向かって突き進めたのは、立教新座の自由な環境で、やりたいことに全力で挑戦できた経験があったから。高校の卒業研究論文ではプロ野球独立リーグをテーマに、リーグ本部の方にインタビューを敢行しました。現在の仕事ではアナウンスだけでなく取材相手の人選から原稿作成なども担当しており、当時の経験が生きています。地元から遠く離れた土地でも、立教新座の友人や先生との絆が途切れることはありません。中高時代の思い出は、今でも夢に出てくるくらい素敵な記憶として残っています。

2015年3月 卒業
立教大学社会学部メディア社会学科へ

2019年4月
熊本県民テレビにアナウンサーとして入社

READ MORE

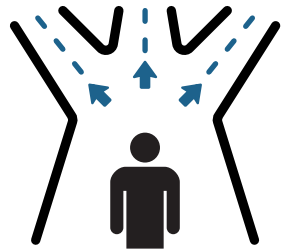


KEITA MIYAZAWA



自ら学び考える力を付け、 自律した大人へと成長する

豊富な選択肢から主体的に選び取り、取り組む力を身に付けます。
自己を確立し、自身の価値観を持って考え、行動できる人間へと成長していきます。



特色1

履修科目も研究テーマも自分で選ぶ

履修する科目や卒業研究論文で扱うテーマは、生徒自身が選択します。自ら判断したことに責任を持ち、考え、やり遂げる力を養います。



特色2

「一般クラス」と「他大学進学クラス」

高校2年からは他大学進学を目指すための「他大学進学クラス」を設置。進路に応じたきめ細かい指導を行います。



特色3

発展した学びに触れる 立教大学特別聴講生制度

高校3年を対象に、立教大学の特別聴講生として大学の指定科目を受講できる高大連携プログラムを実施しています。



CURRICULUM カリキュラム (2023年度第1学年から適用)

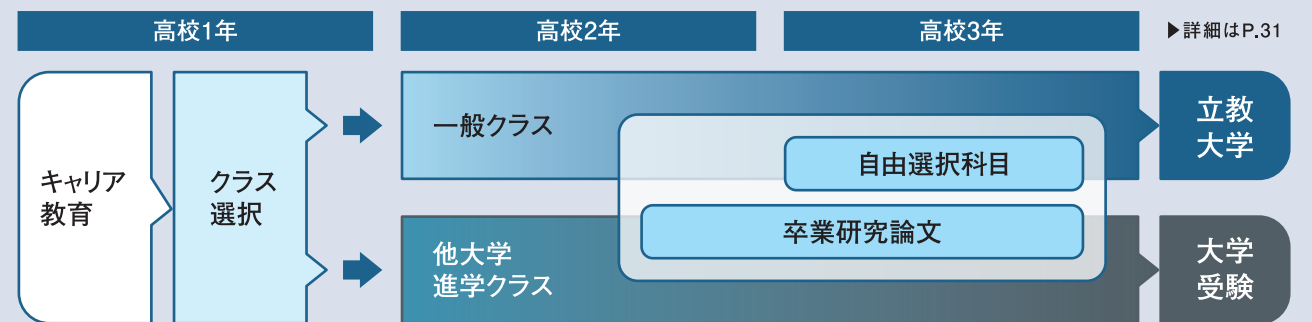
学年が上がるにつれて範囲が広がる選択科目が大きな特長です。
中学までに身に付けた基礎学力を土台として専門的な教養や論理的思考力を磨きます。

学年	科目	単位	必修科目	必修選択	計
高校1年 40名×8クラス	現代の国語	3	英語 コミュニケーションⅠ	2	計 35 単位
	言語文化	2	論理・表現Ⅰ	2	
	地理総合	2	家庭基礎	2	
	歴史総合	1	聖書	2	
	公共	2	総合的な探究の時間	1	
	数学Ⅰ	3	H R	1	
	数学A	2	音楽Ⅰ	2	
	化学基礎	3	美術Ⅰ	1	
	体育	2	工芸Ⅰ	1	
	保健	1	書道Ⅰ	1	
	英語 コミュニケーションⅠ	4			
	論理・表現Ⅰ	2			
	家庭基礎	2			
聖書	2				
総合的な探究の時間	1				
H R	1				
音楽Ⅰ	2				
美術Ⅰ	1				
工芸Ⅰ	1				
書道Ⅰ	1				
計	35				
高校2年 40名×8クラス うち1クラスは他大学進学クラス	論理国語	2	英語 コミュニケーションⅡ	4	計 35 単位
	古典探究	2	論理・表現Ⅱ	2	
	歴史総合	1	情報Ⅰ	2	
	数学Ⅱ	4	総合的な探究の時間	1	
	数学B	2	H R	1	
	物理基礎	3	地理探究	4	
	生物基礎	3	日本史探究	4	
	体育	3	世界史探究	4	
	保健	1			
	英語 コミュニケーションⅡ	4			
	論理・表現Ⅱ	2			
	情報Ⅰ	2			
	総合的な探究の時間	1			
H R	1				
地理探究	4				
日本史探究	4				
世界史探究	4				
計	35				
高校3年 40名×8クラス うち1クラスは他大学進学クラス	文学国語	3	英語 コミュニケーションⅢ	4	計 31~33 単位
	数学C	2	論理・表現Ⅲ	2	
	体育	4	探究の時間	2	
	英語 コミュニケーションⅢ	4	総合的な探究の時間	2	
	論理・表現Ⅲ	2	H R	1	
	古典探究	3	論理国語	3	
	地理	2	古典探究	2	
	日本史	2	地理	2	
	世界史	2	日本史	2	
	倫理	2	世界史	2	
	政治・経済	2	倫理	2	
	物理	2	政治・経済	2	
	化学	2	物理	2	
生物	2	化学	2		
自由選択科目※3	6~8	生物	2		
計	31~33				

※1 2科目の中から1科目選択 ※2 8科目の中から1~2科目選択 ※3 「数学Ⅲ」は自由選択科目として履修

CAREER 進路・進学

高校1年の春にOBによる講話会を実施するなど、入学後の早い段階から進路を考える機会を設けています。
高校2年からは、希望進路に応じてカリキュラムの異なるクラスも選択可能です。



MESSAGE 生徒と教員からメッセージ

生徒の目線に立った授業のおかげで 理解が深まり、取り組み方に変化

高校2年 戸澤 大翔

山口先生の数学の授業は、難しい問題でも、ゲームなど身近なものを例に挙げて説明してくださるので理解しやすく、苦手意識が和らぎました。同じ問題を何度もくり返し解くようにすることで、論理的に考えを組み立てる力が鍛えられました。私は、立教新座の自由な校風に魅力を感じ志望しました。周りの友だちはフレンドリーで打ち解けやすく、自分のやりたいことに挑戦しやすい環境だと感じています。生徒の目線に立って接してくれる山口先生も一緒になって、クラスの仲間と盛り上がった文化祭は一番の思い出です。



論理的思考力と 自分の考えを言語化する力を 身に付けてほしい 数学教諭 山口 宏樹

数学の授業では、生徒にとって身近な事例や、数学に関する面白い話を織り交ぜて解説するよう心がけ、数学が得意とはならなくても、好きになってほしい、という気持ちで取り組んでいます。ただ公式に当てはめるのではなく、求められる解があり、それを求めるにはどうすればいいのか道筋をつくる。数学を通して、こうした論理的思考力と自分の考えを言語化する能力を磨いてほしいですね。私も本校の魅力は「自由」だと思います。生徒たちの自由を支える立教新座で、さまざまなことに力を尽くしてください。

READ MORE





卒業研究論文

自らの興味を深く掘り下げ、研究論文としてまとめあげます。解決を探る力と豊かな確かな日本語の能力を養います。

高校

2年

から

字数

12,000

以上

テーマ

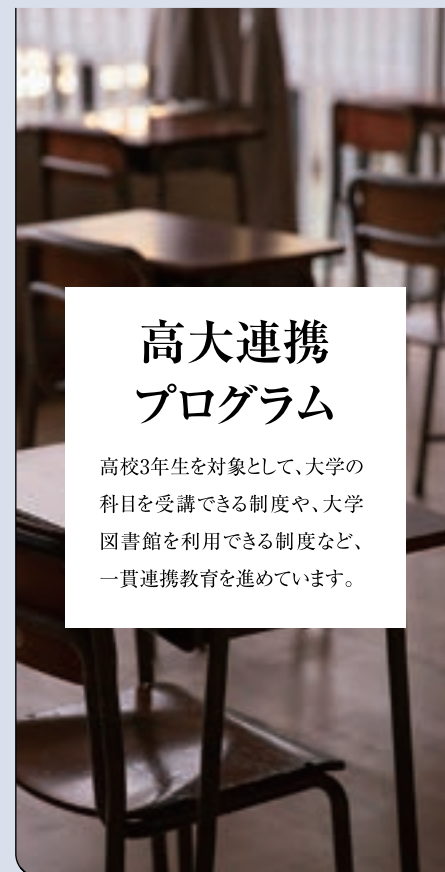
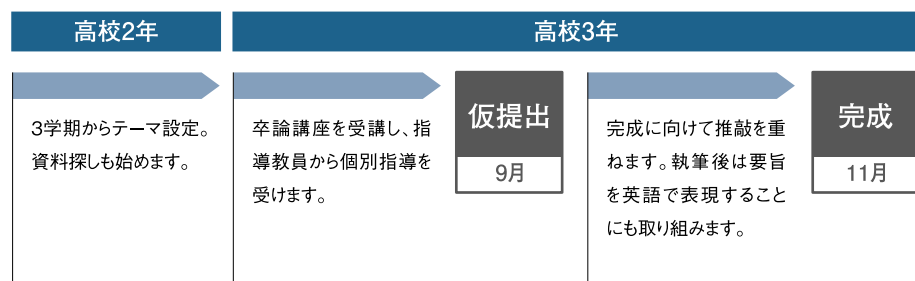
自由

高校2年から1年間継続して完成に向けて取り組みます。

字数は12,000字から。大学進学後も役立つ表現力を身に付けます。

政治、教育、アート、異文化など、幅広いテーマを追究します。

完成までの流れ



高大連携プログラム

高校3年生を対象として、大学の科目を受講できる制度や、大学図書館を利用できる制度など、一貫連携教育を進めています。

立教大学特別聴講生制度

大学で設定されている科目の一部を「指定科目」とし、高校3年次の選択科目として履修することができます。大学生と同じレポートやテストに合格すると、本校での修得単位となるだけでなく、立教大学進学後の修得単位としても認められます。大学での学問や研究の一端に触れ、知的好奇心を高めます。

立教GLP特別聴講生制度

立教大学の全学部学生対象プログラム「立教GLP(グローバル・リーダーシップ・プログラム)」の入門科目「GL101」を特別聴講生として受講することができます。「GL101」は、協力企業から提示された課題の解決にチームで取り組む授業で、大学生とのグループワークと振り返りを通して、自分なりのリーダーシップの発揮方法を見つけます。

立教GLPとは?

グローバル化が進む社会で求められる、新しい形のリーダーシップを育成するプログラム。カリスマ的な先導力ではなく、異なる思考や価値観を持つ一人ひとりがチームに貢献する力を育むことを目的としています。

Student Voice



立教大学 経済学部
上田 恭平 (2022年度卒業)

特別聴講生として立教大学の科目を受講。大学生のレベルの高さが大きな刺激に

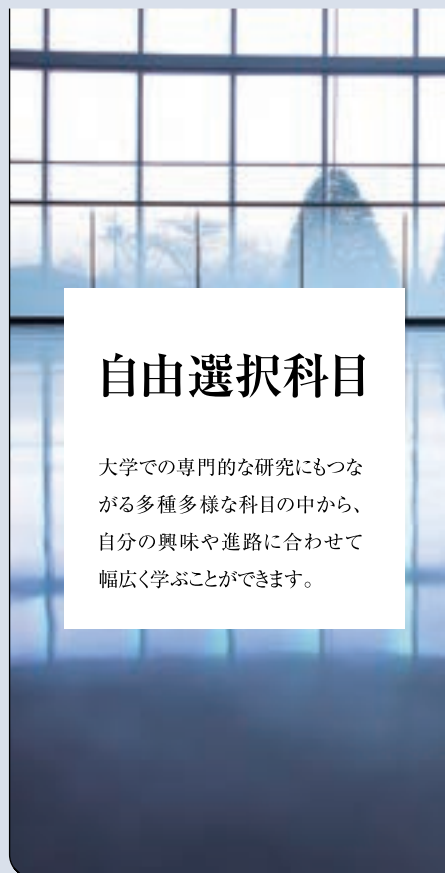
観光やまちづくりに関心があり、観光学部の「観光地経営論」と「風土と観光」を受講。大学生と同様にレポートも作成したのですが、大学生のレベルの高さに驚きました。高校だけでは得られない刺激を受けるとともに、知見が広がったことで学部学科選択がより具体的になりました。

READ MORE



立教大学図書館の利用

特別聴講生の生徒は、立教大学の池袋および新座図書館を自由に利用することができます。さらに、他の生徒も本校の図書館を通して大学の蔵書を借りることができます。授業の予習・復習や、卒業研究論文の執筆に役立っています。



自由選択科目

大学での専門的な研究にもつながる多種多様な科目の中から、自分の興味や進路に合わせて幅広く学ぶことができます。

高校

3年

講座数

91

連続

2コマ

興味や志望する進路に応じて、自分で受講講座を選択します。

教科の枠を越えて、「自分の学び」が追究できる多様な科目を設定。

深い学びを身に付けるため、2コマ連続で授業を行います。

2023年度「自由選択科目」講座一覧

「伊勢物語」を読む／受験国語／国際関係の研究／世界史ⅡA／世界史ⅡC／京都論／日本史演習／地理演習／ハワイの歴史／地域史研究／生命倫理と人権／異文化コミュニケーションと心理学／数学Ⅲα(4単位)／数学Ⅲβ(4単位)／総合数学演習／ヒトの生物学A／物理実験／分子生物学入門／物理(4単位)／化学特講／元素誕生のからくり／環境生態学／大学への化学／解剖A／解剖B／英語で考える生命科学基礎／有機化学講座／相対性理論に基づく宇宙論と測定／スポーツ方法論(サッカー)／美術(3年)／立体造形／音楽表現演習／書道表現演習／総合英語A1／総合英語A2／英語表現・作文／映画の英語／英検2級受験対策／TOEFL Preparation／English in Music／History of War／Myths & Cultures／スペイン語／朝鮮語／ロシア語／アラビア語／ラテン語／ドイツ語A／ドイツ語B／フランス語A／フランス語B／中国語A／中国語B／イタリア語A／イタリア語B／聖書と人権／共観福音書講読／聖書と、よくある話／モーセの律法、愛と公正／仕立て／情報音楽入門／Web作成基礎入門編／プログラミング入門／メディア・リテラシー／メディアとジャーナリズム／制御プログラミング入門／リーダーシップ入門 自己&他者理解／データサイエンス入門／メディア研究／情報デザイン演習／対話を通じたリーダーシップの実践／情報研究／計算機シミュレーション演習／卒論演習(18講座)

TIME TABLE 時間割



高校3年では、ほとんどの授業が選択科目になります。自由選択科目に加えて、必修選択科目も420通りの組み合わせから選択。多様な学びに触れることができます。

	月	火	水	木	金	土
1	自由選択科目					現代文B
2						数学
3	理科・社会	理科・社会	コミュニケーション英語Ⅲ	ホームルーム	体育	理科・社会
4	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅱ	現代社会	理科・社会		コミュニケーション英語Ⅲ
5	現代社会	体育	英語表現Ⅱ	現代文B	国語	
6			国語	コミュニケーション英語Ⅲ	数学	

高校3年生(2023年度)時間割例

- **理科・社会**
世界史、日本史、地理、政治経済・倫理、物理、化学、生物から選択
 - **体育**
バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、ラグビー、陸上競技、器械運動、ソフトボール、柔道、水泳から選択
 - **国語**
古典B、古典講読、発展現代文から選択
 - **数学**
数学Ⅲ[※]、確率統計から選択
- ※数Ⅲを選択した場合は、自由選択科目「数学Ⅲ」を選択する。

□…必修科目 ■…選択科目

ICT機器を活用し 能動的に学ぶ力を身に付ける

立教新座中学校・高等学校のICT教育は、ICT機器を使いこなすことがゴールではありません。効率的に調べものをしたり、物事を深く考察し表現したり、学びをより深めることを目的にさまざまな取り組みを実施しています。



主体的な学びを推進

●授業で活用

2020年度から立教大学と同様に全生徒にGoogleアカウントを発行し、Google Workspaceを導入しました。全ての授業(講座)のClassroomが設定されており、生徒はオンライン授業の受講や課題提出、スケジュール管理に活用しています。課外活動での連絡事項の共有などもGoogle Workspaceを使用しています。また、全生徒にMicrosoft Officeアカウントを発行するほか、ロイロノート・スクールも活用しています。



●課外活動で活用

2020、2021年度のS.P.F.(文化祭)はオンライン形式で開催。Google Workspaceを活用して生徒が専用のWebサイトを作成し、動画コンテンツの紹介やライブ配信などを行いました。2022年度は対面で実施されましたが、参加申し込みとプログラム・展示会場などの案内をオンライン上で行いました。クラブ活動でも、スケジュール管理や日々の連絡、活動の振り返りのほか、動画や写真の撮影、レポートの提出など、体育部文化部ともに積極的に活用しています。



プログラミング・ITリテラシーの習得

中学1年からITリテラシーを講習会などで学び、中学3年では技術・家庭科の授業で情報倫理やコンピュータによる計測・制御など基礎知識を習得。高校2年の「情報の科学」ではその発展としてコンピュータの仕組みや情報処理の方法を学びます。また、高校3年の自由選択科目では、プログラミングについて実践的に技術を習得する講座や、情報を読み解き発信する力を付ける講座を開講。中学から高校と継続して、基礎的な知識から専門分野まで幅広く学べる機会を設けています。

■2023年度プログラミング・ITリテラシー関連開講講座一覧

2023年度は、高校3年の自由選択科目で以下の授業を開講しています。
プログラミング入門/制御プログラミング入門/データサイエンス入門/メディア・リテラシー/メディアとジャーナリズム/メディア研究/情報研究/計算機シミュレーション演習

■第18回IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2022 優秀活動事例受賞

2022年度は、高校2年の情報の授業での著作権に関する実践的な授業や、中学生や保護者への情報モラル教育などが評価されました。

充実した学習環境

●中学生はiPad、高校生はBYOD

立教新座では、Windows PCをPC教室3室に約120台、CALL教室に約40台、iPad約50台を設置しています。中学生は、入学時に立教新座仕様のiPadを購入します。高校生は卒業研究論文を執筆するため、論文作成に必要なソフトが使えるノートパソコンやキーボード付きのタブレット等の使用を推奨。BYOD(Bring Your Own Device)で個人が所有しているデバイスで授業で使用することもあります。



●構内全域にWi-Fi、全教室にApple TVを完備

全ての教室とフィールド、サッカー場など構内全域にWi-Fi環境を整備。また、全てのホームルーム教室にはApple TVと大画面プロジェクターを設置。インタラクティブな授業を展開しています。生徒は授業時間外でもインターネットを使った調査学習や課題に取り組むことができます。



Q&A

[よくいただくご質問]

カリキュラムについて

Q. 中学と高校でクラス 替えはありますか?

A. 中学1年～高校2年でクラス替えがあります。高校2年と3年は同じクラスです。

Q. 補習や補講は ありますか?

A. 教科担当者が生徒の学習の定着具合を見て、授業時間だけで足りないようであれば「補習」を行います。また「補講」は理解が進んでいる生徒を対象に、授業より発展的な内容や問題に取り組みます。中学では各学期末に補習・補講期間が設けられています。

Q. 授業で先取り学習は 行いますか?

A. カリキュラム全体の進捗を進めるための「先取り学習」はしていません。定められた中・高の課程を前提としています。しかし、一歩先の内容を取り入れることで理解が進むと考えるものは、中・高、学年の枠にとらわれず学習しています。

Q. 海外留学はできますか?

A. 中学では2年次に立教英国学院(イギリス)に1年間留学する制度があります。原則として英国学院での修了単位を本校の単位に置き換え、3年生に復学します。高校ではセント・ポールズ・スクール(アメリカ)およびブライトン・グラマー・スクール(オーストラリア)と提携する派遣留学制度を設けています。また、2020年度より、コリヤーズ・カレッジ(イギリス)に1学期間留学するワンターム留学制度がスタートしました。留学中は「休学」となり、帰国後は「進級復学」または「留級復学」を選択します。

学校生活について

Q. 制服はありますか?

A. 中学生は指定の制服を着用します。高校生は制服の着用を自由としています。制服または学校生活にふさわしい服装であればかまいません。

Q. 食堂はありますか?

A. 3号館の1階に約500席の食堂(生徒ホール)があります。中高生ともに昼食を取ることができますが、お弁当を持参してもかまいません。売店で弁当やパンやおにぎりを購入することもできます。
《食堂の基本的な営業時間》
平日/10:30～14:00
土曜/10:30～13:30

Q. 通学時間や通学区域に 制限はありますか?

A. 通学時間・通学区域は中高とも制限していません。在校生は広範囲から通学しています。詳細は、P.38の在籍生徒の通学圏データをご覧ください。

Q. クリスマンでなくても 入学できますか?

A. 毎週チャペルアワー(礼拝)があり、入学式、卒業式などの式典を礼拝形式で行うため、キリスト教らしさを感じるがあると思いますが、キリスト教の信仰を強要することはありません。中学では「キリスト教」、高校1年では必修科目として「聖書」の授業があり、一つの知識として、キリスト教の教え、聖書のことを、その歴史的背景などを学びます。授業なので、テストも行います。

READ MORE



Q&Aは
本校Webサイトでも
ご覧いただけます。

躍動する立教新座生

自由な校風のもと、自らの興味や関心を追求し、課外活動に励む立教新座生を紹介します。

特別対談

刺激に満ちた模擬国連が、さらなる挑戦の原動力に

模擬国連とは、参加者が各国の大使になりきり、国際連合の会議を模擬する活動です。国際連合大学で開催された「第16回全日本高校模擬国連大会・本選」に参加した2人が語り合いました。

谷岡: 模擬国連大会の本選では、9月に開催された予選会を通過した80組160人が2議場に分かれ、議題「多国籍企業及び社会政策に関する原則の三者宣言」について会議を行いました。会議では、各国大使による英語でのスピーチ、モデレートコーカス(着席して発言する)やアンモデレートコーカス(会場で自由に動き回って個別に交渉や討論をする)をくり返し、2日間をかけて決議案を設定。その中で、スピーチなどで主張する内容の良し悪しだけでなく、議論の進め方や議場での立ち振る舞いなど、総合的なスキルが審査されました。参加しての感想は、とにかく他国大使の迫りに圧倒された、ということです。主張がしっかりしているし、アンモデレートコーカスでの動きも思っていた以上に速くて積極的で、ついていくのに必死でした。

栗本: 私も、雰囲気圧倒されたというのが第一の感想です。議論の展開は速くレベルも高く、内容を理解し、自国の立場でどうすればよいかを考えるので一杯でした。谷岡さんと協力しながらやるべきことはできたとは思いますが、同世代である高校生たちの姿は非常に刺激的で、自分にながらなければならないのか考えるきっかけとなりました。

谷岡: 私たちは予選ではスペイン大使、本選ではバングラデシュ大使として参加しました。本選出場が決まると、当日までの間に課題が送られてくるのですが、まずは1人で調べて考えをまとめ、それから2人で自国のスタンスをまとめていきました。英語で資料を読んで、理解して、そして自分たちの考えを英語でまとめる、ということをくり返し行っていたため、英語力は確実に向上しましたし、英語で学ぶ楽しさを体感しました。



高校2年 栗本 涼平

高校2年 谷岡 弘晟

栗本: 課題は、Webで検索しても明確な答えが出てくるものではないので、探し出した情報をもとに、自分で考察しなければなりません。調べるだけでなく、自分たちで考えて最終的に自国のスタンスを決め、それをどのように伝えるのか、ということまで意識して準備しました。スピーチは、英語科の先生にアドバイスをもらい自己練習を重ねたことで、うまくできたと思います。

谷岡: 私は高校受験の際、立教新座の「自由」という言葉に魅力を感じて入学しました。期待通り、大学受験を気にせずに好きなことや興味を持ったことに取り組むことができています。模擬国連のことは知らなかったのですが、社会科の授業のときに先生から紹介されて、「参加したい」と手を挙げました。先生たちは、私たちが全面的にサポートしてくださり、心から感謝しています。何にでも挑戦でき、先生や友人たちも応援してくれる環境を生かして、これからもさまざまなことに挑戦し、「自由」をおう歌したいと思っています。

栗本: 私も6年間、有意義なことに時間を使いたいと思って中学で立教新座を選びました。模擬国連の会場では、一人で統率してまわっていたり、力のある大使がいる一方、他のグループをつないだり、他者のフォローをしていたり、さまざまなかたちで会議に貢献している大使の姿がありました。それはまさに立教新座で学んでいるリーダーシップだと気づき、私も自分なりのリーダーシップを高めていこうと思っています。これまでの経験を今後につなげ、これからも新しいことに挑戦していきたいです。

READ MORE



躍動する立教新座生

埼玉県選抜での経験を

今後のチームづくりに生かしたい

ラグビー部 中学3年 渡邊 大悟

ラグビーを始めたのは幼稚園の頃です。父に連れられてクラブチームでラグビーを体験し、のめり込むようになりました。チームメイトと戦略を立て、情報を共有し、改善につなげていけるころにラグビーの面白さを感じています。特に印象に残っているのは、中学2年次で埼玉県選抜選手として「東日本ジュニアラグビー管平ジャンボリー」という大会に参加したこと。選抜が決まった時は、これまでの努力が報われたようで嬉しかったです。大会中、普段は相手チームである他校の選手と同じチームで戦うことに戸惑いはあ



りましたが、積極的なコミュニケーションを心がけ、仲が深まりました。技術的にも精神的にも成長できたこの経験を、キャプテンとしてチームづくりに生かしていきたいです。立教新座はスポーツ施設が充実していて、常に

思い切ったプレーができるところに魅力を感じます。高校、大学のラグビー部と交流できることも立教のメリット。中学で県大会優勝、高校で全国大会出場を目指し、今後もラグビーを続けていきたいです。

AIとゲームに関する研究に取り組み、「私学文化祭」で受賞

観測部 高校2年 河合 羽空



観測部では天体観測だけでなく、理工系の実験やコンピュータを扱う活動を幅広く行っています。その中で、私は主にゲーム開発に焦点を当て、CG技術やAIのゲームへの応用に関する研究に取り組んでいます。高校1年次には、「私学文化祭」で、AIとゲーム

に関する研究成果(「コンピューターゲームにおけるキャラクターAIの開発〜非プログラマのためのAI開発ツール〜」)についてポスター発表を行いました。そこで佳作を受賞できたことは大きな自信になりました。立教新座の文化祭では、チームで開発したオリジナルゲームを

展示。自分たちの作品を他の方にプレイしていただくのは初めてでしたが、子どもだけでなく大人にも楽しんでもらえたのが嬉しかったです。チームでのゲーム開発を通して、情報共有やタスク管理、建設的な議論など、さまざまな面で成長を実感しました。また、ゲーム開発にはプログラミングだけでなく、数学や物理など、多様な知識が必要です。そのため、ゲーム開発は勉強のモチベーションとなっています。今後はゲーム開発のコンテストに参加し、優勝することが目標です。



Learning by doing

体験学習

社会や現場に触れる

体験学習は、教室で行われる授業で得た知識を現場で生かす貴重な機会です。物事を実際に見て、本物に触れることで、豊かな感性を磨きます。また、自分自身で「選択する」という経験を通して自主性を養い、自ら考え、判断できる人間へと成長していきます。

校外学習 中学1～3年

理科と社会科の2教科において、博物館や科学館、研究機関などを訪問する「校外学習」を実施しています。3年間の現場学習とレポート作成によって学びを深めるだけでなく、自らテーマを設定してレポートをまとめるための課題を発見する能力や表現力を磨きます。



社会科

1年

地理的分野

筑波研究学園都市の「地図と測量の科学館」「地質標本館」を見学し、ワークシートを完成させます。授業やこれまでの調べ学習で得た知識を実際のフィールドで役立てる機会としています。

2年

歴史的分野

国立歴史民俗博物館で古代から現代までの展示を見学しながら、観察や考察を通じた歴史学習を体験。授業で身に付けた知識と、史料の読解で得た歴史的背景にある事象や文化を結び付けることがねらいです。

3年

公民的分野

各自で興味・関心のある博物館や資料館を見学し、公民分野での校外学習レポートを作成します。日本銀行や憲政記念館、国会議事堂（参議院）などの見学を通して、政治や経済、国際関係への理解を深めます。

理科

1年

本物に触れる

「本物に触れること」をテーマとして、宇宙航空研究開発機構（JAXA）などつばのの研究機関を見学。宇宙や地球、科学技術について自分自身でテーマを設定し、人間と科学の関わりについて考えます。

2年

調べ探究する

「自ら確かめること」というテーマのもと、国立科学博物館を見学します。教室で行う授業では実験や体験が難しい「進化」や「地質」を中心に、物理や生物など幅広い分野の展示を通して実践的に知識を身に付けます。

3年

考え発展させる

生徒自身が調査テーマを設定し、テーマに沿った施設の見学を行います。自らの興味や学習の中で感じた疑問を深く掘り下げ、調査・観察を行うことで発展的な学びとしてレポートにまとめることを目的としています。

校外研修旅行 中学3年 高校2年

中学3年と高校2年では、それぞれ1学期に校外研修旅行を実施しています。訪れた先の歴史や文化、自然に触れる経験を通して、日本について学びを深めるだけでなく、多文化交流において重要な異なる文化や自然と共に生きる力を養います。

中学 日本の自然と文化に触れる

「日本の自然と文化に触れる」をテーマに5コースを設定。生徒自身で行先を選び、事前学習として少人数のグループに分かれて行動計画を立てたり、調べ学習をしたりします。現地ではフィールドワークや自主研修を行い、振り返りとレポート作成を行う事後研修も実施。さらに、S.P.F.（文化祭）では研修の成果をまとめたレポートを発表するため、見学だけでなく総合的な学習として展開しています。



実施コース例

- 北海道コース
- 東北コース
- 関西コース
- 屋久島・種子島コース
- 石垣島・西表島コース

高校 平和学習

「平和学習」をテーマに3つのコースを設定しています。戦争体験者らの講話を聞き、資料館や戦跡を訪れることで、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えます。また、高校2年「情報の科学」の授業と連携し、プレゼンテーションソフトを用いた「校外研修旅行記」を作成。研修の成果を発表することで、自分の主張を分かりやすく伝えるリーダーシップスキルも磨きます。



実施コース例

- 中国・四国（広島）コース
- 九州（長崎）コース
- 沖縄コース

その他の体験学習

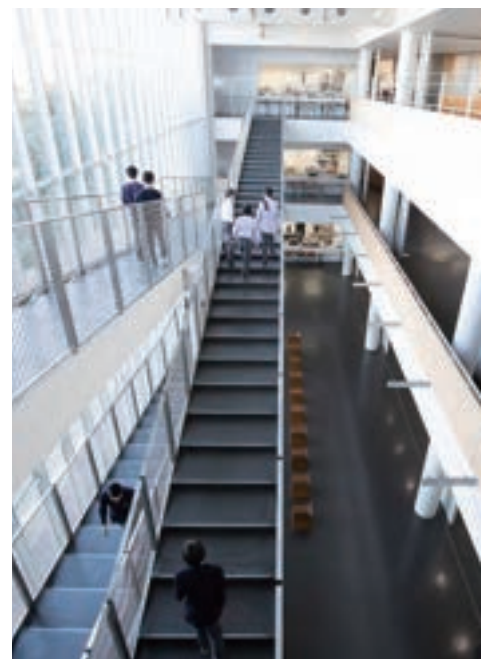
- 中学
- オリエンテーションキャンプ（1年のみ）
 - 清里環境ボランティアキャンプ
 - 音楽祭（1年のみ）
 - 音楽鑑賞会
 - 芸術鑑賞会
 - アメリカ・サマーキャンプ

- 高校
- 榛名ボランティアキャンプ
 - 清里環境ボランティアキャンプ
 - 立教大学特別聴講生制度
 - 立教GLP特別聴講生制度
 - 英国サマースクール
 - オーストラリア短期留学
 - 理科海外研修旅行
 - キャップイヤー留学
 - ワンタム留学



海外体験プログラムの詳細は…………… P.10
立教大学特別聴講生制度、立教GLP特別聴講生制度の詳細は…………… P.18

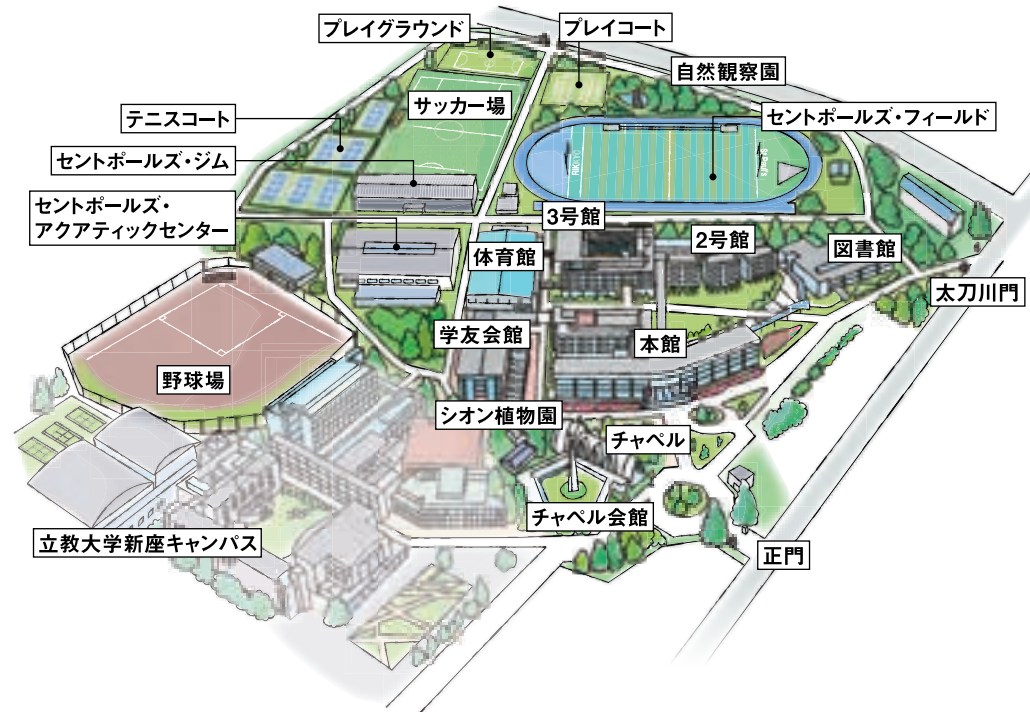
施設紹介



本館 2号館

Campus Map

- 敷地総面積 — 93,608㎡
- 校舎総面積 — 30,790㎡
- 普通教室 — 42
- 選択小教室 — 6
- 選択中教室 — 10
- 選択大教室 — 2
- 階段教室 — 1
- 理科実験室、特別教室 — 6
- 美術室 — 1
- 工芸室 — 1
- 技術室 — 1
- 音楽室 — 2
- コンピュータ教室 — 3
- CALL教室(コンピュータ教室) — 2
- 調理実習室 — 1
- 進路指導資料室 — 1
- 書写・書道室 — 1
- 視聴覚室 — 1
- 生徒ホール(食堂)
- 図書館
- セントポールズ・スタジオ
- 体育館
- 野球場
- テニスコート(6面)
- プレイコート(2面)
- セントポールズ・アクアティックセンター
- セントポールズ・フィールド
- セントポールズ・ジム
- サッカー場
- プレイグラウンド
- 自然観察園
- シオン植物園



3号館



図書館 / 約17万5,000冊の蔵書やCD・DVD資料などが幅広くそろっています。



チャペル



CALL教室 / 2019年度よりiPadを導入し、英語学習などに役立っています。



生物実験室

自由な学びを支える 立教新座の学び舎

10万㎡におよぶ緑豊かなキャンパスには、明るく風通しのよい校舎、公式競技も可能なスポーツ施設など、生徒が安心して過ごすことのできる環境が整っています。



セントポールズ・フィールド



セントポールズ・アクアティックセンター / 50m×10コースを備えた室内温水プールです。



サッカー場



自然観察園

年間行事

1年間を彩る多種多様な行事は、仲間との協力を通して新しい自分に出会うきっかけになります。
また、S.P.F.(文化祭)やイルミネーション点灯式など、実行委員会が主体的に運営を行い、自由と自律の心を養います。

中学



PICK UP

オリエンテーションキャンプ

中学1年生は、入学してすぐに2泊3日のキャンプを行います。トレッキングや自然観察などの活動を通して、自然に触れ、自然との関わり方を学ぶとともに、仲間と理解を深め、集団生活でのマナーを身に付けます。



PICK UP

S.P.F.(文化祭)

クラス展示や文化部の発表、有志による喫茶店やデックスステージでのパフォーマンスなど、さまざまなイベントが行われます。企画と運営は、中学・高校それぞれの文化祭実行委員会が中心となっています。



PICK UP

卒業式

中学・高校の3年生がそれぞれの思い出を胸に、新しいステージへと旅立ちます。

入学式 **P**
新入生ガイダンス
イースター礼拝
オリエンテーションキャンプ **P**
標準学力テスト

創立記念礼拝
生徒総会
校外研修旅行
理科、社会科校外学習
中間試験
朝霞地区大会

期末試験
人権学習
美術特別授業
スポーツ大会
音楽鑑賞会

アメリカ・サマーキャンプ★
清里環境ボランティアキャンプ★

宿題試験
運動会 **P**
朝霞地区大会
学力テスト
中間試験

S.P.F.(文化祭) **P**
収穫感謝礼拝
社会科校外学習
美術特別授業

イルミネーション点灯式 **P**
期末試験
クリスマス礼拝
芸術鑑賞会
英語スピーチコンテスト

宿題試験・英語実力試験
聖パウロ回心日礼拝
マラソン大会
生徒会会長選挙
音楽祭

期末試験
芸術鑑賞会
卒業礼拝・終業礼拝
卒業式 **P**

1学期 [4月～7月]

夏季休業 [7月～8月]

2学期 [9月～12月]

冬季休業 [12月～1月]

3学期 [1月～3月]

入学式 **P**
新入生ガイダンス
イースター礼拝
標準学力テスト
創立記念礼拝

生徒総会
校外研修旅行
OB講話会
中間試験
立教大学学部学科説明会

期末試験
人権学習
体育祭 **P**

オーストラリア短期留学★
英国サマースクール★
清里環境ボランティアキャンプ★
榛名ボランティアキャンプ★

宿題試験
立教大学教員特別授業
中間試験
S.P.F.(文化祭) **P**

TOEIC® IP
収穫感謝礼拝
学生会会長選挙
学年末試験(3年)

イルミネーション点灯式 **P**
期末試験
クリスマス礼拝

理科海外研修★

宿題試験
聖パウロ回心日礼拝
人権学習
マラソン大会

学年末試験(1・2年)
ギャップイヤー留学★
宗教科海外研修★
卒業礼拝
卒業式 **P**
英語スピーチコンテスト
生徒総会

高校



PICK UP

入学式

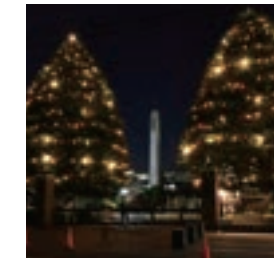
新しい立教新座の仲間として、中学・高校の新入生を迎えます。入学式はキャンパス内の体育館で、キリスト教の礼拝形式で行われます。



PICK UP

運動会(中学) / 体育祭(高校)

中学は2学期に運動会を実施。3学年の縦割りチームが一丸となって勝利を目指します。高校は7月に体育祭を開催します。種目の選定や当日の運営は生徒自身がを行い、サッカーやドッジボールなどの競技に取り組みます。



PICK UP

イルミネーション点灯式

チャペルでの礼拝後、正門にある2本のヒマラヤ杉に約1,000個のイルミネーションを点灯します。立教新座の冬の風物詩として、クリスマス実行委員会を中心に準備を進めます。

★は希望者のみ参加

立教新座生の一日



登校

多くの生徒は、志木駅からは徒歩で、新座駅からスクールバスを利用して登校しています。

8:05



チャペルアワー

礼拝は毎朝キャンパス内のチャペルで実施されており、中学2・3年と高校生は週1回の決まった曜日に礼拝に参加しています。

8:30



始業礼拝・朝礼

中学生は、校内放送による始業礼拝を行います。高校生は、SHRとして担任からの連絡事項を聞き、授業に臨みます。

8:40



1～4時間目

授業は1コマ50分。土曜日は4時間目までの時間割となります。

12:35



昼休み

昼休みは45分。生徒ホール(生徒食堂)でランチを食べたり、教室で弁当や売店の軽食を食べたり、自由に過ごします。

13:20



5～6時間目

中学生は、毎週木曜日は原則5時間目までの授業です。

15:10



終礼・清掃

終礼とともに1日の授業が終了。教室は自分たちで清掃します。

15:30



クラブ活動

ほとんどの生徒がクラブに所属し、活動に励んでいます。原則、中学は18:00、高校は18:30が完全下校時間です。



RIKKYO
NIIZA
CLUBS

クラブ活動

体育部

中・中学 高・高校

- 剣道部 中高
- サイクル部 中高
- サッカー部 中高
- 柔道部 中高
- 水泳部 中高
- ソフトテニス部 中高

- 体操部 中高
- 卓球部 中高
- テニス部 中高
- バスケットボール部 中高
- バレーボール部 中高
- フェンシング部 中高

- 野球部 中高
- ラグビー部 中高
- 陸上競技部 中高
- アメリカンフットボール部 高
- 空手道部 高
- ゴルフ部 高

- 山岳部 高
- スキー部 高
- 馬術部 高
- ボート部 高

文化部

中・中学 高・高校

- 映画研究会 中高
- 英語部 中高
- 写真部 中高
- 吹奏楽部 中高
- 地歴部 中高
- 鉄道研究会 中高

- 美術部 中高
- 文芸部 中高
- アコライトギルド^{*1} 中高
- クワイヤー^{*2} 中高
- オルガニストギルド^{*3} 高
- 理科部 中

- 化学部 高
- 観測部 高
- 生物部 高
- 演劇部 高
- 落語研究会 高
- 音楽部 高

- ジャズ研究会 高
- 将棋囲碁部 高

^{*1}2 アコライトギルドとクワイヤーは、中学ではチャペルギルドとして一つの団体になっています。

^{*3} 高校オルガニストギルドは、クワイヤー／オルガニストギルドとして一つの団体になっています。

CAREER



「生徒一人ひとりが自分の希望する分野に進学すること」を進路指導の柱として、
 中学から自分のやりたいことや将来について考えます。
 高校では大学と連携したキャリア教育を行い、卒業後の進路決定を後押しします。

POINT 1

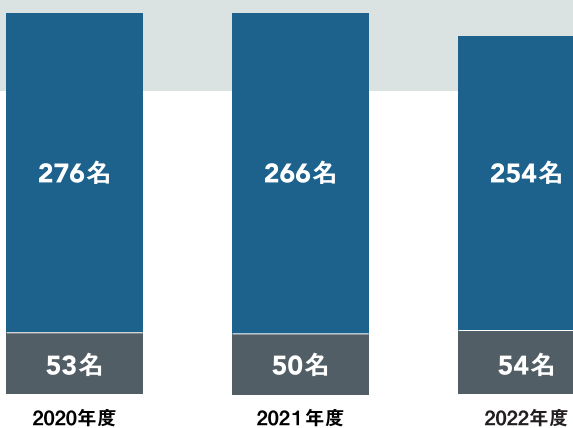
高校1年からさまざまな キャリア教育を実施

多様な職業に就く立教新座の卒業生による「OB講話会」や、
 立教大学と連携した授業・説明会を実施。
 きめの細かい指導で、生徒の自己実現をサポートします。

POINT 2

他大学受験にも 対応したカリキュラム

高校2年から、他大学進学を目指す生徒を支援するための
 「他大学進学クラス」を1クラス設置。
 受験に適したテキストや問題集を使用した授業を行うため、
 希望する大学への合格に向けた学習が可能です。



99%

高校3年間の学習成績が基準を満たしていれば、立教大学に推薦入学が可能です。
 過去3年間では、希望者の99%が立教大学に進学しました。

20%

他大学受験を志すことができるのも、立教新座の大きな特長です。
 例年約20%の生徒が他大学へ進学しています。

SELECTION 進路選択のイメージ



立教大学への推薦進学

受験による他大学進学

立教大学とは

立教大学は、1874(明治7)年の開学以来、知性・感性・身体バランスが取れた全人教育を意味する「リベラルアーツ」を教育理念とし、「専門性に立つグローバル教養人」の育成を目指しています。2024年の創立150周年を見据えた国際化戦略「Rikkyo Global 24」では、「海外への学生派遣の拡大」、「外国人留学生の受け入れの拡大」、「教育・研究環境の整備」、「国際化推進ガバナンスの強化」の4つの目標を実現するために24項目の施策を講じています。2014年に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に採択されました。



2022年度立教大学推薦者数

学部	学科	人数
文学部	キリスト教学科	0
	文学科/英米文学専修	3
	文学科/ドイツ文学専修	0
	文学科/フランス文学専修	2
	文学科/日本文学専修	1
	文学科/文芸・思想専修	6
	史学科	5
	教育学科	9
	異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科
経済学部	経済学科	30
	経済政策学科	15
	会計ファイナンス学科	15
経営学部	経営学科	22
	国際経営学科	14
理学部	数学科	1
	物理学科	5
	化学科	2
社会学部	生命理学科	1
	社会学科	14
	現代文化学科	14
法学部	メディア社会学科	14
	法学科	27
	国際ビジネス法学科	11
Global Liberal Arts Program (GLAP)	政治学科	11
		0

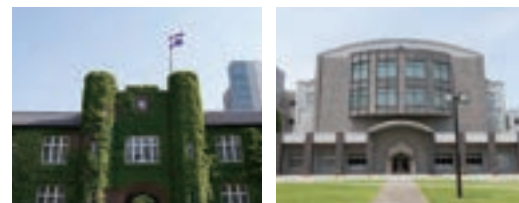
立教大学推薦基準の概要

- 卒業研究論文を提出し、認定されること。
- 英語についての一定の能力が認定されること。
- 国語についての一定の能力が認定されること。
- その他の科目の能力が認定されること。
- 学校生活上の状況が良好であること(出欠状況等)。
- 立教大学への進学を希望し、勉学の意志を明確に持っていること。
- 自己推薦項目で一定のポイントを取得していること。
- 高校が定める卒業に必要な単位を修得していること。

学部	学科	人数
観光学部	観光学科	13
	交流文化学科	0
コミュニティ福祉学部	コミュニティ政策学科	0
	福祉学科	0
現代心理学部	心理学科	4
	映像身体学科	0
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科	3
合計		254

CHECK

立教大学の学部学科定員数によって各学部学科への推薦者枠が設定されています。推薦対象者は学内序列順により希望学部学科を選びます。



他大学進学について

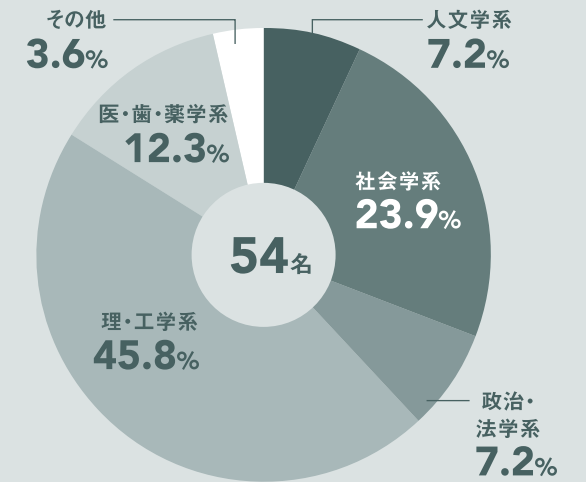
立教大学以外の大学進学を目指す生徒を支援するために、高校2年次より「他大学進学クラス」を1クラス設置しています。受験を前提として、主要科目では受験に適したテキストや問題集を使用するなど、他のクラスとは多少違う進度・内容の授業を行います。また、受験対応の選択科目を選択し受験に備えることになります。このクラスに入る生徒は、その時点で立教大学への推薦資格を辞退することになり、志望校合格を目標に2年間学習に臨みます。ただし、3年次11月の最終進路調査で、立教大学の推薦基準などの条件を満たしていれば、立教大学への推薦入学に切りかえることも可能です。一方で、一般クラスから他大学を受験することも可能です。最終的に他大学を受験する場合、立教大学への推薦資格を放棄することになります。

大学入試合格者数

大学名	人数		
	2023	2022	2021
茨城大学	1		
愛媛大学			1
群馬大学			1
島根大学		1	
信州大学		1	1
千葉大学	1	1	1
電気通信大学		1	
東京藝術大学			1
東京工業大学	3	3	
東京大学	2		1
東北大学		1	
新潟大学	1		1
一橋大学	2		3
北海道大学	3		1
山口大学		1	
横浜国立大学	1	1	
東京都立大学	1		
気象大学校			1
青山学院大学	1	4	4
麻布大学			1
岩手医科大学		1	
浦和大学			1
桜美林大学		1	
岡山理科大学			1
学習院大学	1	1	1
神奈川大学		1	
関西医科大学	1		
関西大学		2	
関東学院大学	1		
北里大学	1		
杏林大学	1		
慶應義塾大学	16	16	10
工学院大学	2		2
國學院大学		2	1
国際医療福祉大学	1	1	
国際基督教大学	1	2	2
国士舘大学		3	1
こども教育宝仙大学		1	
埼玉医科大学		1	1
埼玉工業大学			1
自治医科大学	1		
芝浦工業大学	5	1	3
順天堂大学	2	1	
上智大学	7	5	3
昭和大学	1	1	1

他大学合格者分野別内訳

(2023年4月卒業生)




(2023年4月6日現在一部抜粋)

大学名	人数		
	2023	2022	2021
成蹊大学			1
成城大学	2	2	
聖路加国際大学	1		
専修大学		1	1
創価大学		1	
大東文化大学			2
高千穂大学		1	
玉川大学		1	
千葉工業大学	1		
中央大学	6	4	5
鶴見大学		1	
帝京大学	1	1	3
帝京平成大学	1		
東海大学			1
東京医科大学		1	1
東京経済大学		1	
東京工科大学			2
東京工芸大学	1		
東京国際大学			1
東京歯科大学	1		1
東京慈恵会医科大学	1	1	
東京電機大学	1	1	
東京都市大学	1		
東京理科大学	26	17	12
同志社大学		2	2
東邦大学	1	1	
東洋大学		2	1
獨協大学		1	
日本医科大学		2	
日本歯科大学		1	
日本獣医生命科学大学			1
日本大学	5	7	1
法政大学	8	6	5
武蔵大学			3
武蔵野美術大学	1		
明治学院大学	1	3	
明治大学	14	12	8
明星大学			1
目白大学		1	
桃山学院大学			1
横浜薬科大学	1		
立教大学	5	2	
立命館大学	1	1	7
早稲田大学	10	23	15
海外	ニコラス州立大学(アメリカ)	1	


中学校 入試情報

入試要項および出願方法は
Webサイトをご確認ください。
https://niiza.rikkyo.ac.jp/
admissions/juniorj.html



高等学校 入試情報

入試要項および出願方法は
Webサイトをご確認ください。
https://niiza.rikkyo.ac.jp/
admissions/senior.html



2024年度 中学校 入試概要

	一般[第1回]	帰国児童	一般[第2回]
募集定員	約100名	若干名	約40名
出願資格	2024年3月 小学校卒業見込み の男子	日本の小学校第6学年に相当する学齢男子児童であり、保護者の海外勤務に伴い海外に在留し、次のいずれかの条件を満たす者 ①海外在留期間が継続して1年以上で、帰国後1年以内の者 ②海外在留期間が継続して2年以上で、帰国後2年以内の者	2024年3月 小学校卒業見込み の男子
出願期間	2023年12月18日(月)12:00~2024年1月18日(木)23:59 Webのみ		2023年12月18日(月)12:00~ 2024年2月2日(金)16:59 Webのみ
書類郵送期間	なし	1月9日(火)~1月18日(木)必着	なし
入学試験	1月25日(木)		2月3日(土)
合格発表	1月26日(金)15:00 Webのみ		2月3日(土)21:00 Webのみ
入学手続時納入金 払込期間	1月26日(金)15:00~2月2日(金)16:59 Webのみ		2月3日(土)21:00~ 2月4日(日)11:59 Webのみ

試験時間・配点

▶一般入試[第1回・第2回]

時間	科目	試験時間	配点
1	算数	50分	100点
2	国語	50分	100点
3	理科	30分	50点
4	社会	30分	50点

▶帰国児童入試

時間	科目	試験時間	配点
1	算数	50分	100点
2	国語	50分	100点
3	面接(本人)	2科目終了後	—

2023年度 費用一覧

入学手続時納入金		学費等納入金	
入学金	300,000円	授業料	624,000円
維持資金	100,000円	維持資金	278,000円
合計	400,000円	学生会費	10,000円
		セントポール会費	21,000円
		合計	933,000円
初年度年額	1,333,000円		
	(制服・教材 その他 約150,000円)		

※2024年度の学費は改訂する場合があります。
※寄付金は1口100,000円(複数口以上)を任意でお願いしています。
※入学手続時納入金(400,000円)の延納制度はありません。ただし、所定期限中に入学辞退の手続を行った場合のみ、入学手続時納入金のうち、維持資金分(100,000円)を返還します。
※複数回受験(第1回、第2回の同時出願や2回とも受験すること)での、合格基準の配慮や受験料の割引はありません。

2023年度 入試結果

	一般[第1回]	帰国児童	一般[第2回]	
募集人数	約100名	若干名	約40名	
志願者数	1,760名	3名	280名	
受験者数	1,685名	3名	217名	
合格者数	804名	3名	46名	
補欠者数	111名	—	41名	
補欠繰上数	0名	—	0名	
合格最高点	243点	119点	200点	
合格最低点	161点	105点	158点	
補欠最低点	156点	—	144点	
教科平均点 数	算数	39.4点	44.7点	34.8点
	国語	64.5点	66.0点	46.5点
	理科	27.6点	—	29.5点
	社会	27.0点	—	27.9点

2024年度 高等学校 一般入試概要

募集定員	約60名
出願資格	2024年3月 中学校卒業見込みの男子 及び中学校を卒業した男子
出願期間	2024年1月9日(火)12:00~ 1月24日(水)23:59 Webのみ
調査書 郵送期間	2024年1月9日(火)~ 1月25日(木)必着
入学試験	2月1日(木)
合格発表	2月2日(金)16:00 Webのみ
入学手続時納入金 払込期間	2月2日(金)16:00~ 2月8日(木)16:59 Webのみ

試験時間・配点

時間	科目	試験時間	配点
1	数学	60分	100点
2	国語	60分	100点
3	英語	60分	100点

※英語はリスニングテストも含む

2023年度 推薦入試結果

志願者数	35名
一次合格者数	24名
合格者数	23名

2023年度 一般入試結果

志願者数	1,589名
受験者数	1,517名
合格者数	711名
補欠者数	186名
補欠繰上数	52名

2023年度 費用一覧

入学手続時納入金		学費等納入金	
入学金	300,000円	授業料	624,000円
維持資金	240,000円	維持資金	138,000円
合計	540,000円	学生会費	10,000円
		セントポール会費	21,000円
		合計	793,000円
初年度年額	1,333,000円		
	(制服・教材 その他 約100,000円)		

※2024年度の学費は改訂する場合があります。
※寄付金は1口100,000円(複数口以上)を任意でお願いしています。
※本中学から高校への内部進学の場合も、入学金を納入していただきます。
※入学手続時納入金(540,000円)の延納制度はありません。ただし、所定期限中に入学辞退の手続を行った場合のみ、入学手続時納入金のうち、維持資金分(240,000円)を返還します。

2024年度 高等学校 推薦入試概要

募集人員	約20名
出願資格	下記の条件①~⑥すべてを備えていること ①2024年3月中学校卒業見込みの男子 ②本校を第一志望とし、合格した場合必ず入学すること ③3年間の欠席日数の合計が21日以内の者 ④中学校3年2学期の9教科5段階評価の合計が36以上かつ2以下がない者 ⑤中学時の課外活動・学外活動において次のA・Bいずれかの条件を満たしている者 A.体育活動において、都道府県レベル以上の大会でベスト8以上の成績を残した者。ただし、団体競技の場合は、試合に出場した者に限る B.文化活動において、都道府県レベル以上のコンクールで入賞またはそれに相当する成績を残した者。ただし、団体の場合は、大会に参加したメンバーに限る ⑥入学後は出願資格⑤に関わる本校のクラブ活動に所属し、その優れた実績をさらに伸ばす意志を持ち、学業との両立を図る意志のある者
出願期間	2023年12月11日(月)12:00~ 2024年1月4日(木)23:59 Webのみ
書類郵送期間	2023年12月25日(月)~ 2024年1月6日(土)必着
選抜方法	一次:書類審査 二次:面接
一次合格発表	1月12日(金)10:00 Webのみ
二次試験	面接試験 1月22日(月)
二次合格発表	1月23日(火)10:00 Webのみ
入学手続時納入金 払込期間	1月23日(火)10:00~ 1月26日(金)23:59 Webのみ

[推薦入試に関するよくいただくご質問]

Q.推薦入試、あるいは単願・併願制度等がありますか?

A.<中学>
ありません。
<高校>

「推薦入試」と新座・志木・朝霞・和光の4市の公立中学校から、本校の定める基準により推薦された生徒を受け入れる「地域指定校制推薦制度」があります。いずれも単願・専願の制度ではありませんが、「合格した場合必ず入学すること」が出願資格になります。「地域指定校制推薦」の基準は、該当する中学校にご確認ください。

READ MORE



入試に関するその他のご質問は本校Webサイトでもご覧いただけます。



グローバルな世界に 羽ばたく「人」へ

本校の前身である立教高等学校が、この新座の地に根を下ろしてから60年あまりが経ちました。武蔵野の青空の下に広がる広大なキャンパス、近代的な校舎、充実した施設、そして同じ敷地内に併設された立教大学の新座キャンパス、立教新座中学校・高等学校は、ずっと変わらずにここにあるものと、時代とともに姿を変えたものが共存する、理想的な環境に恵まれた学校です。

これからの時代を生きていくため、グローバルな世界で生きていくためには、進んで人と関わることのできる力が必要となります。私たちは、人はそれぞれ違うということを理解し、それを前提として相手の気持ちを想像し、互いに支え合い、協力して新しいものを創り出すことのできる力を育てていきます。そのために、立教学院の建学の精神、「キリスト教に基づく人間教育」に則り、「真理を探究する力」、「共に生きる力」を伸ばしていきます。魅力のある「人」として羽ばたいていくことのできるよう、私たちと共に学びませんか。

立教新座中学校・高等学校 校長 佐藤忠博

立教学院について

立教学院は、米国聖公会から派遣された宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が1874年、東京・築地に聖書と英学を教える私塾を開いたことに始まります。今日まで「キリスト教に基づく人間教育」を建学の精神に据え、「真理を探究する力」と「共に生きる力」を育てることを共通の教育目標として、小学校から大学まで一貫した連携教育を行っています。

真理を探究する力

学生・生徒・児童たちが、他者から与えられるのではなく、自主的・自律的に学習・研究活動を進めることを目指します。

共に生きる力

友人、知人、家族をはじめ、地域、国、世界の人々と理解を深め、協力して今日の課題を担い、未来を開く力を育てることを目指します。

沿革

- 1874(明治7)年 ウィリアムズ主教、築地に私塾を開くのちに「立教学校」と称する
- 1948(昭和23)年 「立教高等学校」として池袋に開校
- 1960(昭和35)年 新座に移転
- 1964(昭和39)年 海外研修旅行 開始
- 1969(昭和44)年 欧州研修旅行 (現 英国サマースクール)開始
- 1970(昭和45)年 選択科目制度 開始
- 1980(昭和55)年 英語の習熟度別授業 開始
- 1990(平成2)年 オーストラリア短期留学 開始
- 1995(平成7)年 他大学進学クラスを設置
- 2000(平成12)年 「立教新座高等学校」と改称し、「立教新座中学校」を併設
- 2014(平成26)年 新校舎、総合体育館、セントポールズ・フィールド完成
- 2015(平成27)年 セントポールズ・アクアティックセンター完成



旧プール



旧第一体育館



旧本館

学校概要

在籍生徒数

(2023年4月1日現在)

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
6クラス	6クラス	6クラス	8クラス	8クラス	8クラス
228名	204名	203名	325名	322名	337名
635名			984名		
1,619名					

教職員数

(2023年4月8日現在)

チャプレン	2名	カウンセラー	2名	
教員	専任	73名	校医	3名
	司書教諭	2名	司書職員	3名
	養護教諭	1名	理科助手	5名
	講師	66名	事務職員	10名
外国人講師	6名			

在籍生徒の通学圏

(2023年4月1日現在)

中学・高校とも通学時間や通学区域に制限はありません。

埼玉県内だけでなく、東京都内や神奈川県や千葉県、茨城県など広範囲から生徒が通学しています。

区域	中学	高校	合計
練馬区	69	72	141
文京区	20	21	41
板橋区	27	42	69
北区	10	19	29
豊島区	20	31	51
足立区	10	20	30
荒川区	5	4	9
葛飾区	2	8	10
江戸川区	2	2	4
台東区	8	7	15
大田区	5	10	15
江東区	18	17	35
品川区	5	8	13
渋谷区	10	13	23
墨田区	4	1	5
世田谷区	26	39	65
千代田区	4	7	11
中央区	10	10	20
港区	7	16	23
目黒区	23	20	43
中野区	9	11	20
新宿区	27	26	53
杉並区	22	27	49
合計	343	431	774

東京23区

区域	中学	高校	合計
八王子市	4	4	8
立川市	4	4	8
武蔵野市	10	8	18
三鷹市	10	13	23
府中市	1	5	6
昭島市	1	2	3
調布市	5	8	13
町田市	1	2	3
小金井市	5	7	12
小平市	2	6	8
日野市	2	2	4
東村山市	5	6	11
国分寺市	6	8	14
国立市	1	6	7
福生市	0	1	1
狛江市	0	1	1
東大和市	2	1	3
清瀬市	3	0	3
東久留米市	11	5	16
武蔵村山市	1	1	2
多摩市	3	1	4
稲城市	0	3	3
羽村市	0	1	1
西東京市	11	12	23
西多摩郡瑞穂町	1	1	2
合計	89	108	197

東京23区以外

区域	中学	高校	合計
ふじみ野市	7	7	14
富士見市	6	7	13
朝霞市	16	40	56
志木市	10	29	39
和光市	3	17	20
新座市	13	40	53
蕨市	2	0	2
戸田市	4	15	19
川口市	26	41	67
八潮市	0	1	1
三郷市	1	5	6
春日部市	1	3	4
草加市	2	12	14
越谷市	9	11	20
北足立郡	0	2	2
吉川市	0	1	1
所沢市	13	19	32
狭山市	2	1	3
入間郡	4	1	5
飯能市	0	1	1
入間市	1	2	3
日高市	1	1	2
さいたま市	35	76	111
東松山市	1	1	2
鶴ヶ島市	1	1	2
比企郡	1	3	4
川越市	7	10	17
熊谷市	1	2	3
上尾市	0	4	4
桶川市	0	1	1
北本市	0	1	1
鴻巣市	0	4	4
蓮田市	0	1	1
久喜市	0	2	2
加須市	2	0	2
行田市	1	1	2
合計	170	363	533

埼玉県

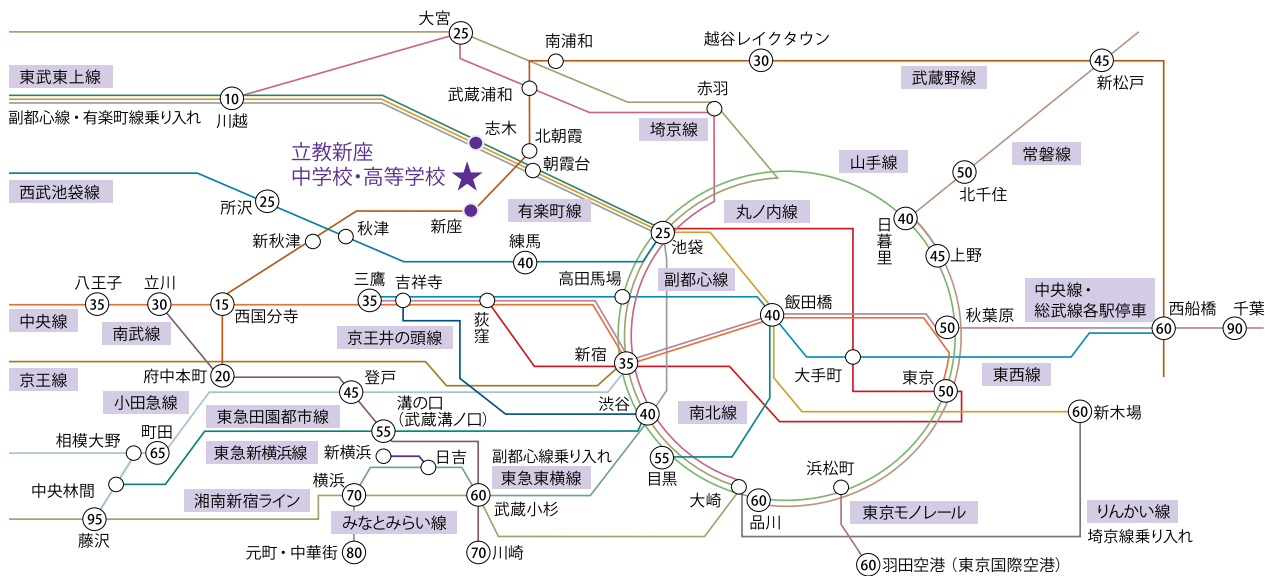
区域	中学	高校	合計	
横浜市	6	14	20	
川崎市	13	22	35	
鎌倉市	0	1	1	
藤沢市	0	3	3	
相模原市	0	3	3	
厚木市	0	1	1	
大和市	0	1	1	
合計	19	45	64	
千葉市	0	1	1	
市川市	1	0	1	
船橋市	2	2	4	
松戸市	3	6	9	
野田市	0	2	2	
習志野市	0	1	1	
柏市	2	5	7	
流山市	2	4	6	
我孫子市	0	2	2	
浦安市	3	8	11	
印西市	0	1	1	
白井市	0	1	1	
合計	13	33	46	
栃木県	宇都宮市	1	1	2
合計	1	1	2	
茨城県	取手市	0	1	1
古河市	0	1	1	
つくば市	0	1	1	
合計	0	3	3	
総合計	635	984	1,619	

(人)

ACCESS 交通案内

最寄駅までのアクセス

○の中の数字は、最寄駅までの所要時間を示します。
時間はあくまでも目安です。



最寄駅からのアクセス

立教新座 中学校・高等学校



志木駅

- 東武東上線(東京メトロ有楽町線/副都心線相互乗り入れ) 南口より
- ・徒歩 正門まで約15分
- ・スクールバス 約10分(運行時間10:10~18:30)
- ・西武バス 約10分(清瀬駅北口行/所沢駅東口行「立教前」下車)

新座駅

- JR武蔵野線 南口より
- ・徒歩 正門まで約25分
- ・スクールバス 約10分(運行時間7:30~18:45)
- ・西武バス 約10分(志木駅南口行「北野入口経由」立教前」下車)

※スクールバスの運行状況などの詳細は、本校Webサイトをご確認ください。 2023年5月現在

INFORMATION 学校説明会・公開行事

オープンキャンパス	7月17日(月・祝) 要予約
生徒による学校説明会	9月16日(土) 要予約 [中学]13:30~14:30 [高校]15:00~16:00
学校説明会	11月19日(日) 要予約 [中学]9:30~10:30 11:00~12:00 [高校]13:00~14:00 14:30~15:30
S.P.F.(文化祭)	10月28日(土)・10月29日(日)

※状況によって、開催内容が変更または中止となる場合があります。詳細は本校Webサイトをご確認ください。



立教新座中学校・高等学校

〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25
 TEL:048-471-2323(代表) 048-471-6648(入試窓口)
 FAX:048-473-0455
<https://niiza.rikkyo.ac.jp/> e-mail:rikkyo@rikkyo.ac.jp

